

マガキの化石出土地



昭和十年(一九三五)六月二十六日、旧国道二十二号線の木曾川橋脚の建設工事中、田代藤掛地の川底約十五メートルから、長牡蠣の化石が発見されました。化石が発見された地層は、細かい砂に粘土の混った地質でできており、今から六千年前の縄文時代前期のものと思われれます。この化



昭和十年当時の木曾川橋脚建設工事の様子

石は「マガキ」の一種で形の長いところから「ナガガキ」とも呼ばれ、現在においても北海道の近海に生息する生きた化石の仲間です。また、「マガキ」に付着していた泥から、「ウネナシトマヤガイ」と言う小さい二枚貝の化石が発見されるなど、笠松町の生成を知る手がかりが数多く発掘され

ています。「マガキ」や「ウネナシトマヤガイ」などが出土した地層の深さや、木曾川橋建設の際、ボーリングによって明らかとなった地層の堆積状態と遺物から、笠松町はかつて伊勢湾に接続する大きな内海であったと推定されています。

資料館には大小三つのマガキの化石が展示しており、その中で最も大きいものは長さ三十三センチメートル、幅十二センチメートルと県下で発見されたものの中では最大級の大きさで、大変めずらしいものです。

資料館では、私のコレクションステンレス工芸「思い出のプロペラ機」を9月9日(火)~28日(日)まで開催します。皆さんお誘い合わせのうえ、是非お出かけください。

行政相談	行政相談委員	加藤司郎	県町105	☎387・2793
人権相談	人権擁護委員	齋藤好子	中川町20	☎387・0812
		保母勝壽	弥生町30	☎387・2782
		後藤 稔	北及1183	☎388・1495
		杉原貴子	中野256	☎388・1496

行政相談、人権相談は自宅でも応じています。いずれの相談も秘密は固く守られますのでお気軽にご相談ください。

行政相談 人権相談